

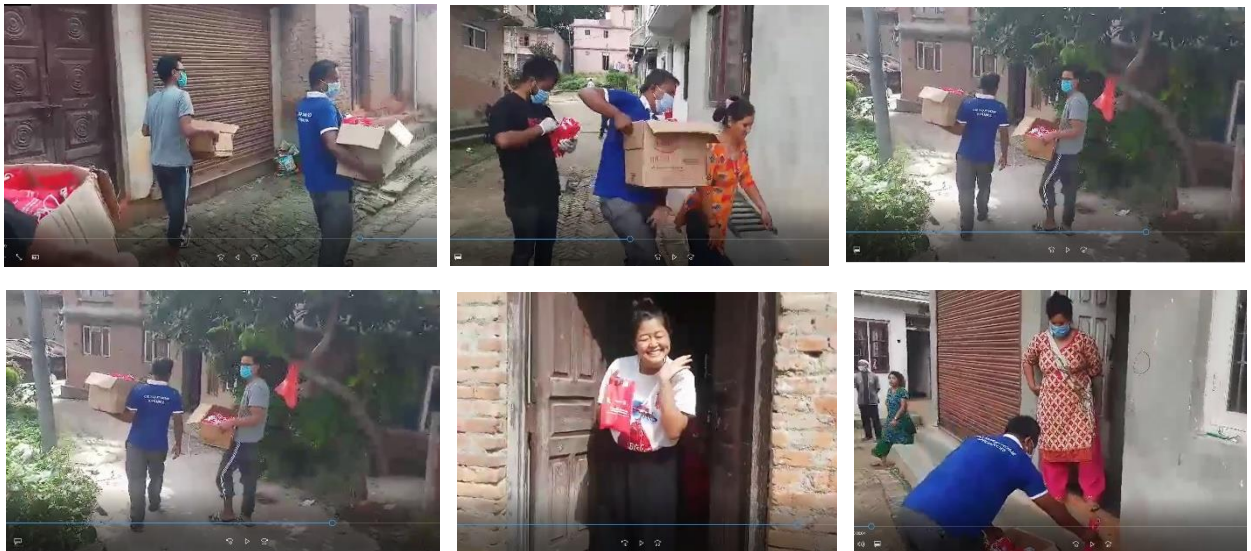
ネパール GG プロジェクト実施サイト周辺に居住する困窮世帯の支援
(中間報告)

1. 趣旨

- ネパールでも 2020 年初頭から新型コロナウイルスの感染者数及び死者数の増大が続いている。ウィルス対策のため通常の社会経済活動は厳しく制限され、多くの市民が収入源を失い、コミュニティが困窮している。このような中、福岡東南 RC と交流のあるマディアプール RC が困窮世帯の支援を始めたことから、当クラブとしてもこれに協力することとした。

2. 活動内容

- マディアプール・シミ市内で困窮しているコミュニティの世帯に対して、食料品、高齢者特別支給品(果物など)、手洗いセットなどの配布、貧困家庭の子供たちの就学継続支援、公共手洗い所の設置、農作物の種の配布、乳がん・子宮頸がんの検診などによる女性の健康管理を実施する。2020年8月3日に事業費 1,055,000 円が現地に着金した。
- 支援対象は、市内ニルバラヒ地区のコミュニティである。同コミュニティでは、下記のように、マディアプール RC 指導の下でロータリー地域社会共同隊(RCC - Rotary Community Corps)が設立されたことに加え、市当局の賛同も得られたことから、効果的な支援活動が実施できると判断した。裨益者の選定にあたっては、コミュニティの状況を熟知している上記 RCC の進言を踏まえて、支援物品毎に裨益者・世帯を個別に選定した。
- 9月7日、感染が続く中、RCC の協力を得て、230 世帯に手洗いセットを戸別に配布した。



- 10月8日、困窮世帯への食料配給(貧困世帯と母子世帯、65 世帯)、菓子などの特別支給品の配布(高齢者 35 人)、水汲み用バケツの配布(230 世帯)などを実施した。また、公共手洗い所を設置した。子供たちの就学継続支援、次の農作物作付けに向けた種子の配布、がん検診については、都合がつき次第できるだけ早期に実施する予定である。



3. 事業実施環境の醸成

- 2020年5月20日、スレンドラ氏ほかのマディープール RC クラブ員とローターアクトメンバー数人がニルバラヒ寺院で同地区に住む青年数人に会い、朝食を共にした。ローターアクトメンバーが彼らにロータリーやローターアクトの活動について説明したところ、地元青年たちはこれへの参加に関心を示した。また、近くの小学校を訪問し問題点などを調査した。地元の青年たちが主導して、地区で最も支援を必要としている世帯のリストを作成することとなった。



- 翌日、5月21日、スレンドラ氏等はニルバラヒ地区の青年2名をお茶に招待し、ニルバラヒ地区のコミュニティに対してRCとしてどのような支援ができそうか協議した。その中で、今日の食事にも事欠くなど特に困窮している6家族については緊急に支援する必要があることが分かったため、本事業とは別に、緊急に、スレンドラ氏夫人や友人たちの協力の下、直ちに食料配給の準備をし、1時間後に当該家族に直接届けた。



- このような活動を通じた住民からの非公式な聞きとりによって、失業した120～150の困窮世帯に対する食料配給、手洗いの習慣をつけるための支援、次の作付けのための種の支給、60人ほどの子供たちの就学継続支援など、必要な支援の内容や規模感を把握するに至った。
- 6月26日、マディアプールRCとニルバラヒ地区住民の間で公式の協議の場が持たれ、支援内容やその規模についての協議が進められた。7月4日にはローターアクトと地元青年たちとの協議があり、RCC設立を具体化させることとなった。なお、7月10日、マディアプールRC設立10周年記念式典が開催され、福岡東南RCを代表して深澤が参加し、マディアプールRCの一連の努力に敬意を表する旨のスピーチを行った。



- 7月11日、RCC 設立に向けたオリエンテーション会議などが開催された。同会議の会場であるレストランの経営者は、以前はネパール GG プロジェクトに反対するグループのリーダーであり、2019年11月に市長が主催したプロジェクトの説明会でも反対の演説を行った人物であるが、ロータリーは行政とは一線を画すものであり、商業的な利益を目的とするものでもないことを知り、ロータリーの活動に理解を示す立場になった。続いて開催された別の会議には、かねてネパール GG プロジェクトに懐疑的であったメディアプール・シミ市副市長が主賓として出席し、本事業に対する理解を深めてもらうこととなった。8月14日、RCC 設立式典が開催され、本事業実施の体制が整った。ネパール GG プロジェクトの実施にあたっては、ロータリーの活動に対する地域住民の理解が不可欠である。このような動きはそれに向けた大きな一歩である。



4. 資金

- 事業費は 1,055,000 円(1,190,000 NPR)。その内、878,461 円(990,026 NPR)は 2700 地区補助金、残りの 176,539 円(199,974 NPR)は福岡東南 RC 有志の募金である。
- 2700 地区補助金 878,461 円の 20%、175,693 円は福岡東南 RC の拠出金で、ネパール GG プロジェクト委員会予算から支出した。
- マディアプール RC は現地での事業実施環境の醸成や物品運搬などを担当している。

	調達物品名	納入事業者名	単価	裨益数	ルピー	円
1	配給食料品セット	Hema Store	4,030	65	261,950	232,431
2	高齢者特別支給品	Hema Store	1,015	35	35,525	31,522
3	手洗いセット	Krishna Store	1,450	230	333,500	295,918
4	学童支援	Bipu Books & Stationary	5,050	60	303,000	268,855
5	公共手洗い所設置	Kanchhi Maharani Metal Workshop	20,000	1	20,000	17,746
6	交通費		31,025	1	31,025	27,529
7	農業支援（種支給）	Creative Business Enterprises	500	230	115,000	102,041
8	女性健康管理	Hit Medical Hall	600	150	90,000	79,858
	合計				1,190,000	1,055,000
						NB
						NB : 端数 + 901円

- なお、以上のうち、2700 地区補助金 878,461 円に相当する予算は以下の通りです。「5 手洗いセット」のみ 230 個ではなく 100 個とし、「6 交通費」で端数を調整している。

	調達物品名	納入事業者名	単価	裨益数	ルピー	円
1	配給食料品セット	Hema Store	4,030	65	261950	232431
2	高齢者特別支給品	Hema Store	1,015	35	35525	31522
3	手洗いセット	Krishna Store	1,450	100	145000	128660
4	学童支援	Bipu Books & Stationary	5,050	60	303000	268855
5	公共手洗い所設置	Kanchhi Maharani Metal Workshop	20,000	1	20000	17746
6	交通費		19,551	1	19551	17348
7	農業支援（種支給）	Creative Business Enterprises	500	230	115000	102041
8	女性健康管理	Hit Medical Hall	600	150	90000	79858
	合計				990026	878461